

65歳以上の人、
対象です。

糸満市在宅福祉サービス事業

介護長寿課 ☎ 840-8114
ID 17409

65歳以上の高齢者を対象に介護保険によるサービスのほか、在宅福祉サービスとして次のような事業を実施しています。

送迎バス活用

民間送迎バスを活用して、送迎バスの運行ルート内に設けられた停留所間の送迎

【対象者】65歳以上でバスに1人で乗り降りできる人

【利用料】無料

福祉電話設置

高齢者宅に電話機を設置し、コミュニケーションと緊急連絡手段を確保

【対象者】1人暮らしの高齢者で市民税非課税世帯

【利用料】基本料金、通話料は自己負担

家族介護慰労金支給

要介護4・5に認定された高齢者を在宅で介護している家族に対する慰労金の支給

【対象者】過去1年以上市民税非課税世帯で、介護保険サービスの利用や90日以上長期入院がない高齢者を在宅で介護している家族

【給付額】年額10万円

介護用品給付

要介護4・5に認定された高齢者を、在宅で介護している家族へ紙おむつなどの現物給付

【対象者】市民税非課税世帯(介護者が別世帯の場合、介護者も非課税であること)

【給付額】月額7000円(現物給付)

救急医療情報キット配布

65歳以上の高齢者に、かかりつけ医療機関や持病、家族の連絡先など、緊急時に必要な情報を保管する救急医療情報キットの配布

【対象者】65歳以上の単身者または高齢者のみの世帯 【利用料】無料

認知症になっても 安心して暮らせる街へ 9月21日は、世界アルツハイマーデー

アルツハイマー型認知症とは、認知症の一つです。高齢化に伴い、認知症患者数も増加傾向にあるため、地域全体の見守り支援が行えるよう、「どこシル伝言板®」を導入しています。どこシル伝言板®は、高齢者の衣服などに貼り付けられたQRコードを読み込むことで、高齢者の家族とやりとりができる仕組みです。

7月23日(日)、糸満市小学生バレーボール市内大会の開会前に、市職員からどこシル伝言板®の説明が行われ、兼城フレンズスポーツ少年団の上江洲瑚乃さん(兼城小6年)は「困っている様子のお年寄りがいたら、シールが貼られているか確認して、積極的に声をかけていきたいです」と話しました。



老人週間パネル展

9月15日から21日までの「老人週間」を前に、関連する取り組みのパネル展を開催します。
【場所】市役所 1階市民ロビー
【期間】9月11日(月)~15日(金)

#糸満PR大使

「#糸満PR大使」を付けて投稿してくれた写真を紹介します。

大綱引きや旧盆エイサー、お祭りなどの思い出を「#糸満PR大使」を付けて、ぜひシェアしてみてください！

投稿された写真の中から不定期で広報いとまんと公式インスタグラムで紹介していきます。



@itoman_city_scape さん



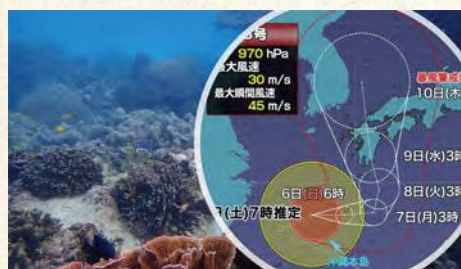
@aya_ovo さん

糸満市公式
Instagram



地域おこし協力隊
ルドスが行く #28
【台風6号、サンゴ】
8月5日、土曜日です。このコラムを書いている時点で台風6号が折り返して東西南北、全ての方向で風を体験しました。糸満市でまだ停電しているところがたくさんありますが、いち早く復旧させるためビュ〜ビュ〜の中で頑張ってくれている電気屋さんに感謝しています。
糸満に移住してそろそろ3年、台風を何度か経験しましたが、今回は一層怖いヤツです。特に激しくて、周りのウチナーンチュでさえ被害を心配している様子です。停電している暗い部屋の中ですが、通信機器がまだバッテリーで動いています。地域のニュースは当然、台風の話が中心になっていますが、購読している欧州のオンライン新聞では未知の世界に入った地球温暖化の話がまた主題になっています。
北米フロリダ州近海の海水温が上昇している、ある箇所に前代未聞の38度まで観測されて、海洋科学者が警報を鳴らしています。世界記録に値する海水温で、よく考えると、お風呂並みの熱さです。そこまできたら、当然サンゴ・海藻・海草・魚などが悲鳴をあげて、海の豊かさを失えば、当然、漁も乏しくなる、観光客も来なくなる悪循環です。
なぜフロリダ州がそんなに気になるかというと、実は、観光ガイドが外国人向けに糸満や沖縄の気候について説明する時に、分

かりやすく、フロリダ州によく似ていると例えることが多いからです。緯度といい、亜熱帯海洋性気候といい、姉妹のような地域で、親近感があります。地球温暖化でフロリダの海がそんな危機にさらされているのが、他人事ではありません。私はサンゴに詳しいわけではありません。ただし観光業に携わっている、漁業とともに、海の生き物の健康状態が悪くなった場合、職が成り立たなくなります。沖縄のサンゴは危機的な状況でありながらも、オーストラリアなどに比べて健康状態がまだ良好だそうです。
台風の話に戻りますと、「海水をかき混ぜて、水温を下げてくれるから、台風が来ないとサンゴが危険」と沖縄でよく聞きます。海上保安庁のデータを調べ、専門家にも聞いてみたら、その通りで、台風6号が一時的に海水温を27度まで、2度〜3度ほど下げてくれました。自然のサイクルの台風は大きな被害をもたらしながら、サンゴの救世主にもなっている、この島を地球温暖化の被害から今のところ守ってくれています。…と停電した部屋の途中でふと思つて、我慢しやすくなりました。
ルド



沖縄県糸満市 Itoman City

■人口

	7月	前月比
人口	62,330	-30
男	31,589	-8
女	30,741	-22
世帯数	28,233	14

■火災・救急

	7月	前年比
火災	4件 (22件)	4 (17件)
救急	371件 (2211件)	-73 (89件)

※()内は令和5年の累計

■面積 46.60Km² (2021年10月1日現在)

■市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル

■市の花 日野草 ■市の魚 タマン

(人口、世帯数、火災・救急件数は2023年7月末現在)

広報



「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書防災課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FM たまん)

- 月〜金
- ① 7時45分〜7時50分
- ② 12時55分〜13時
- ③ 17時55分〜18時
- 土〜日
- ④ 12時55分〜13時